

チーム三菱ラリーアート、アジアクロスカントリーラリー2024 への参戦を発表 ～動力性能を強化した『トライトン』で王座奪還に挑戦～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が技術支援するチーム三菱ラリーアートは、本年 8 月にタイ～マレーシアで開催予定のアジアクロスカントリーラリー（以下、AXCR）に参戦します。参戦車両はピックアップトラック『トライトン』の改造クロスカントリー車両（T1仕様）で、動力性能の強化を中心に総合力を高め王座奪還に挑みます。



2024 年参戦車両

チーム三菱ラリーアートは、昨年開催された AXCR にフルモデルチェンジしたばかりの『トライトン』の 3 台体制で参戦し、チャヤポン・ヨーター選手（タイ）が総合 3 位に受賞。また、2 台以上のエントリーですべての車両が完走し、うち上位 2 台の合計タイムで順位が争われる「チーム賞」を獲得しました。チーム三菱ラリーアートは排気量が大きく、動力性能が勝る競合車に対し、『トライトン』の軽快なハンドリングと高い信頼性で対抗してきましたが、今年 AXCR 参戦車両では各部の熟成を図るとともに、加速性能と走破性を強化、ポテンシャルを高めて必勝態勢で臨みます。

本日、第 45 回バンコク国際モーターショーでは、新しいカラーリングの『トライトン』AXCR 参戦車両を公開。湧き出した溶岩のエネルギーをモチーフにしたレッド/ブラックの昨年のカラーリングに対し、エネルギッシュなレッドはそのままに、巻き上がるダストをデジタル化したグラフィックを車体前方から中央に配し、さらに湧き出した溶岩が固まって強固な岩盤となった様子をイメージしたガンメタリックを車体後方に配置。『トライトン』AXCR 参戦車両の力強い躍動感と耐久信頼性を表現しています。

チーム三菱ラリーアート総監督 増岡浩のコメント

「昨年は『トライトン』が過酷なアジアクロスカントリーラリーでも堅牢性、耐久性に優れていることを確認できましたし、軽快なハンドリングと高い悪路走破性は強みであることを再認識しました。ニューモデルで 2 回目の参戦となる今年は、大排気量の競合車と互角に戦えるよう動力性能を強化するとともに、ワイドレッド化でさらに走破性を強化して臨みます。チーム三菱ラリーアートは、王座奪還に向けて始動します。ご声援をよろしくお願いいたします」

大会概要

AXCR はアセアン最大規模のクロスカンントリーラリーです。29 回目の開催となる今年
は、8 月 11 日（日）にタイ南部、タイランド湾に面するスラタニでのセレモニアルスタ
ートによって開幕し、翌 12 日（月）から本格的な競技がスタート。タイ国内を南下し、
15 日（木）にマレーシアに入国、17 日（土）にマレーシアの首都クアラルンプールでゴ
ールを迎えます。総走行距離は約 2,000km、スペシャルステージと呼ばれる競技区間は
その内 1,000km を超える見込みで、コースは山岳部、密林地帯、川渡りなど変化に富
み、走破性と耐久性、さらに今年はスピードが問われる難コースが予想されます。

以 上